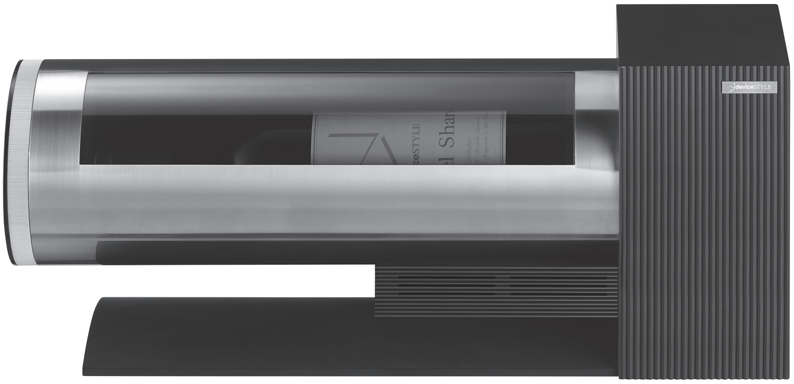
deviceSTYLE

取扱説明書



WINE CELLAR

WA-1

ワインセラー 1本収納タイプ

Angelshare

はじめに

このたびは、電子式ワインセラー（1本用） WA-1 をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。また、お読みいただいた後は保証書とともに、大切に保管してください。

ご注意

本機は日本国内専用です。交流100V以外のコンセントには接続しないでください。
本書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お取扱いや、お手入れに関するご不明な点や、修理に関するお問い合わせは下記のカスタマーサポートセンターにご相談ください。

《本製品に関するお問合せ・修理品の送付先》
デバイスタイル カスタマー サポートセンター

電話 048-664-3477

email：customer.support@devicestyle.co.jp
〒331-0812　埼玉県さいたま市北区宮原町1丁目677

営業時間：平日午前9時～午後6時
（土日、祝日及び長期休暇を除きます。）

もくじ

はじめに 2
おもな特徴 3
安全上のご注意（必ずお読みください） 4
設置場所について 5
各部の名前と準備 6
ワインを保存する 7
お手入れのしかた 9
故障かな?と思われる前に 10
主な仕様 10
保証とアフターサービス 11
保証書 12

おもな特徴

ワインの保存、熟成には10℃から16℃程度の一定の温度で、温度変化が少なく、振動のない場所で、また、適度に湿度のある紫外線などの当たらない場所に保管しておく必要があります。せっかくおいしいワインを手に入れても一般のご家庭ではワインをおいしく保存、熟成しておける環境がありません。
電子式ワインセラー WA-1は、ご家庭で手軽に理想的な保存環境を提供いたします。

理想的なワインセラー

電子式ワインセラー WA-1 は家庭用の冷蔵庫と異なり、ワインの貯蔵に最適な数々の条件を備えています。

最適な温度

ワインの最適な貯蔵温度は約10℃から16℃程度と言われています。
WA-1 はワインの品種や、産地によって庫内温度を約12℃、14℃、16℃の三段階に設定することができます。

外気温度が低くてもOK

一般の冷蔵庫と異なり、ペルチェ素子*に流す電流の量や、流す向きを常にコントロールすることにより外気温度が設定温度よりも低い場合でも庫内を暖めて、一定の温度に保ちます。

温度変化が家庭用冷蔵庫の1/5（当社調べ）

ワインの貯蔵には極力温度変化の少ない環境が必要です。
WA-1 で採用しているペルチェ素子は流す電流によって、温度をコントロールできるため、温度変化を非常に少なくすることができます。

振動が少ない

ワインには振動も禁物です。ペルチェ素子には可動部がありませんので、一般の冷蔵庫のようにコンプレッサーや、ファンモーターがオン･オフするときに発生する振動がありません。

適度な湿度が保てる

コルク栓の縮(ちぢみ)を防ぎ、ワインの酸化を防止するために、ワインの保存には湿度65％から70％が最適です。
WA-1 は一般の冷蔵庫のように乾燥することなく、ワインの保存に最適な約65％以上の湿度が保てます。

約15dB の静かな運転音

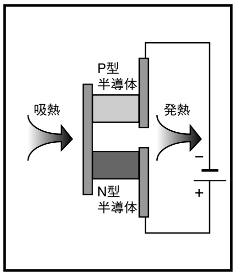
WA-1はコンプレッサーが無く、静粛性を実現するために特別に設計された小さなファンが回っているだけです。そのため静かな室内でも運転音がほとんど気にならない15dB程度となっています。

環境にやさしいノンフロンタイプ

WA-1は冷媒（熱交換するためのフロンなど）を使用していないため、環境にもやさしい設計です。

＊ペルチェ素子とは

2種類の金属や、半導体の接合されたものに直流電流を流すと一方は吸熱し、反対側は発熱する効果があります。これを発見者の名前をとって、ペルチェ効果と言います。
このペルチェ効果を応用したペルチェ素子の最大の特徴はポンプなどの可動部を使わずに、しかも電流の量や、向きを変えることによって、温度コントロールが自由にできる点です。
本機で採用しているペルチェ素子ユニット「PV-2」は、繊細で扱いにくかった従来のペルチェ素子を丈夫で扱いやすく改良したものです。



ペルチェ素子の原理

安全上のご注意(必ずお読みください)

製品を安全にご使用いただくため、ご使用の前によくお読みください。
製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。

表示の意味

⚠警告 この表示は、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示は、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⃠記号は、禁止の行為であることをあらわします。図の中や下に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示する内容をあらわします。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠警告

改造禁止

修理改造をしない。
発火や、異常動作をして、破損や、けがの原因となることがあります。

守る

電源プラグは専用コンセントに差し込む。
一つのコンセントから複数機器をつなぐ「たこ足配線」をすると、ショート、火災の恐れがあります。

守る

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む。
差込が不完全だと、感電や、ショート、発火の原因となります。

禁止

交流100V以外のコンセントに接続しない。
他の電源に接続すると故障や、発火の原因になります。

禁止

本体や、庫内に水をかけない。
ショートや、感電、故障の原因となります。

禁止

風呂場など湿度の高い場所に設置しない。
ショートや、感電、故障の原因となります。

濡れた手でプラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。

禁止

電源コードを無理に曲げたり加熱したり、ステープルで止めたり、重いものを乗せたり、そのほか無理のかかることをしない。
ショートや、感電、故障の原因となります。

守る

お子さまのいたずらにご注意
庫内に手を入れたりしないようにご注意ください。思わぬけがや、感電、故障の恐れがあります。

禁止

吸・排気口にピン、クリップ、針などの異物を入れない
故障、火災や感電の原因となります。

禁止

可燃性スプレーをワインセラーにかけたり、近くで使ったりしない
電気接点の火花などで引火する恐れがあります。

プラグを抜く

お手入れの際は電源プラグを抜く。
感電の恐れがあります。

⚠ 警告

禁止

ほこりの多い場所には設置しない。

電源プラグにほこりが付着するとショートや、過熱、故障の原因となります。

プラグを抜く

煙が出たり、異常なにおいがしたり、異音が出るような場合は、すぐに電源プラグを抜いて、修理をご依頼ください。

⚠ 注意

プラグを抜く

長期間使わないときはプラグをコンセントから抜く。

けがや、劣化による感電、漏電による火災などの原因となります。

禁止

不安定な場所に置かない。

落下によるけがや感電のおそれがあります。

守る

電源プラグを抜くときはコードを引っ張らずプラグを持って抜く。

断線や、感電、ショート、発火の原因となります。

禁止

ワインを無理に入れない。

ワインの瓶が大きくて、WA-1に入りにくいときは無理に入れないでください。

破損や、故障の原因になります。

禁止

本体を水や洗剤などに浸さない。

故障の原因となります。

禁止

本体をアルコール、シンナーなどの薬品で拭かない。

塗装を傷つけたり、プラスチックを痛めます。

禁止

ワイン以外のものを保存しない。

温度や、湿度がワイン専用に設定されています。その他の食品の保存には適しません。

禁止

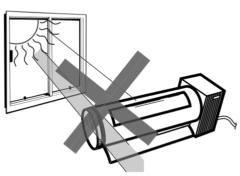
ワイン収納部を持って運ばない。

持ち運ぶ際は必ずベース部を持って運んでください。破損や故障の原因となります。

設置場所について

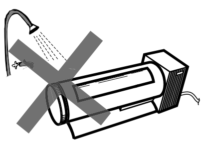
直射日光や、暖房器具など熱の当たらないところ

熱効率を良くして、電気代のムダを無くしましょう。



湿気が少ないところ

湿度が高いとサビや故障の原因になります。

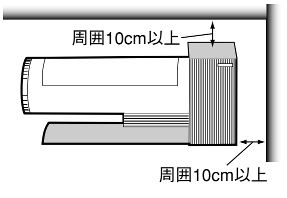


ラジオ・テレビから離しておく

ラジオ・テレビの近くに置くとラジオ・テレビに雑音や、画面に縞模様が入ることがあります。

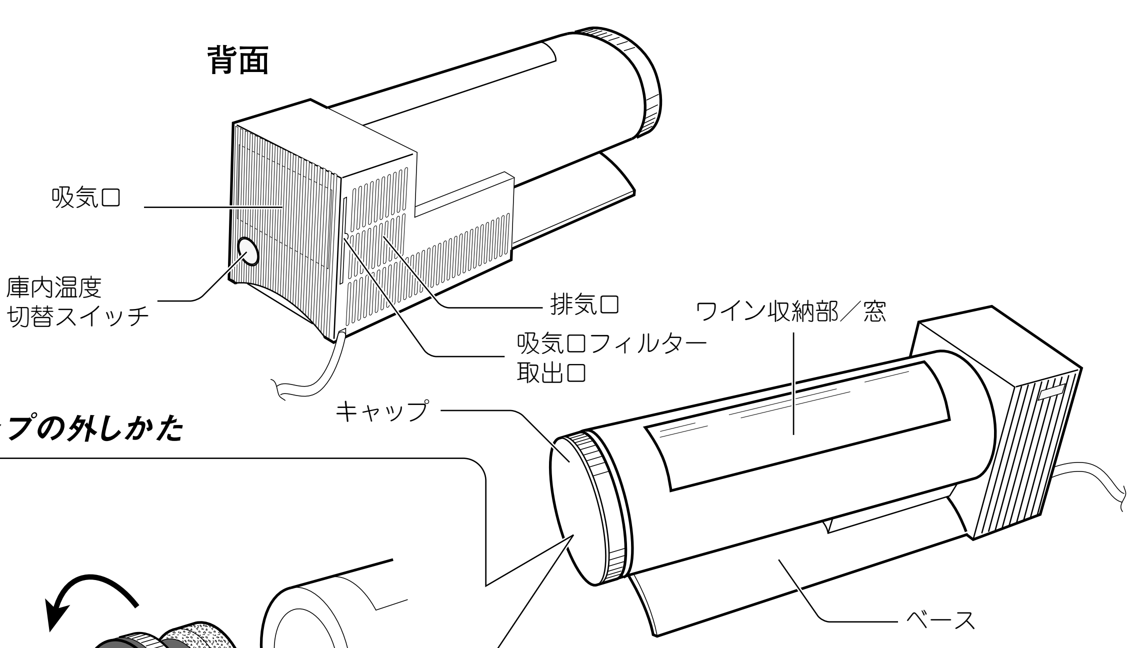
放熱スペースをあける

庫内温度を一定に保つため、排気口から熱を放出します。
周囲を約10cm以上空けてください。

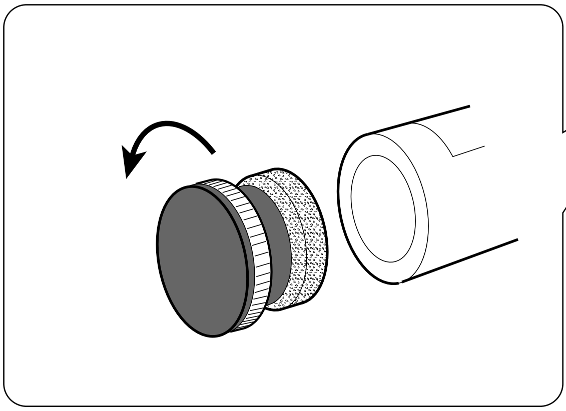


各部の名前と準備

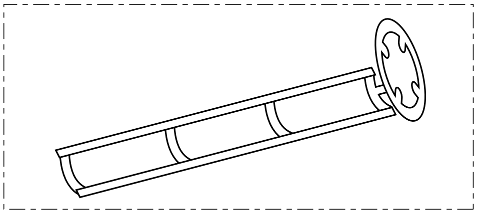
背面



キャップの外しかた



キャップを矢印のように回して、取り外します。
取り付けるときは逆に回して取り付けます。

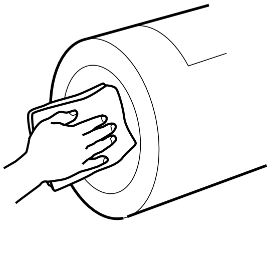


スペーサー
ワイン収納部の庫内にセットされています。

ワインを保存する準備

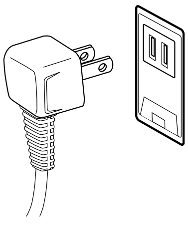
1. 庫内をきれいに拭く

ご使用の前に、ぬるま湯を浸してよく絞った布で庫内を拭いてください。



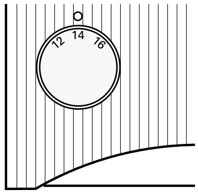
2. 電源コードを差し込む

壁のコンセントに電源コードを差し込みます。
電源コードをコンセントに差し込むとワインセラーの電源が入ります。
一つのコンセントから複数の機器をつなぐ「たこ足配線」はしないでください。



3. 庫内温度を設定する

庫内温度の設定は12℃、14℃、16℃の3段階に切り換えられます。指標に温度表示を合わせてください。ワインの種類などお好みに合わせて、切り換えてください。



設定温度は、周囲の温度が25℃のとき、ワインを入れてキャップを閉め、安定したときの目安です。
キャップの開閉や、ワインの出し入れによって、温度は変化します。

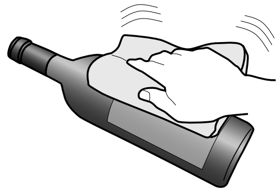
ワインを保存する

電源コードをコンセントに差し込むとワインセラーの電源が入ります。庫内の温度が安定するまで約4時間待ってワインを入れてください。

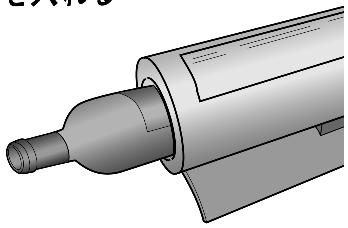
1. 瓶をきれいに拭く

保存する前にワインの瓶を良く拭いてください。

長期間保存するときはラベル部分にラップを巻いて保存するとカビや、露からラベルを保護することができます。



2. 瓶の口を手前にしてワインを入れる



ラベルを上に瓶の口を手前にして、庫内のスペーサーの上にゆっくりと挿入してください。

注意 本機はシャンパン用ではありません。収納できるボトルの直径は 85mmまでです。またボトルの太さや長さによっては本体に入らない場合がありますのでご注意ください。

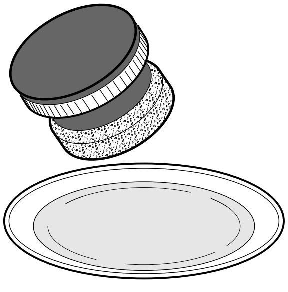
モイスチャーサーキュレーションシステム

内部に発生した露はキャップの方に流れるように設計されているため、キャップのスポンジが水分を吸収し、庫内の湿度を最適に保ちます。
また、スペーサーで、ボトルが庫内に直に触れないようになっています。

冬季など外気の湿度が低いときは

冬期間など外気の湿度が低いときにキャップを開閉したりして、乾燥した外気が入ったときは次のようにして、スポンジに水を含ませてください。

1. 本体からキャップを取り外します。
2. 小皿に水道水を入れ、スポンジ部分を約15秒ぐらい浸します。（1～2cc程度で十分です）



重要

- 加湿用には水道水以外は使わないでください。
- スポンジに水をしみこませすぎないようにしてください。スポンジから水がたれるような場合は、乾いた布で、吸い取ってください。

湿度が高くなりすぎるとカビが発生したり、まどに結露することがあります。この場合は乾いた布でよくふき取ってください。

ヒント

停電したときは
キャップの開閉をせず、ワインの出し入れをしないで、庫内温度を保つようにしましょう。

長期間使わないときは
電源プラグを抜いて、庫内を良く乾拭きして、2～3日キャップを開けておくとカビや、においの発生を防げます。

露が付いたり、カビが発生したときは

庫内はワイン貯蔵に適した湿度となっており、通常の冷蔵庫と比べると高い湿度を維持しています。そのため、露や水滴が付着したり、ラベルやコルクにカビが発生することがありますが、ワインの保存に影響はありません。露が付いたときは乾いた布で拭き取ってください。また、カビが付いたときは水を含ませ、きつく絞った布で丁寧に拭き取ってください。

ワインの澱（オリ）について

ワインを保存しておくと下に固形物が沈殿していることがあります。これは澱と言って、ワインの熟成過程で自然に発生するもので、体に害を与えるものではありませんがワインの風味を損ねるものです。

特に澱の多い場合は、澱がグラスに混ざらないように瓶をワインセラーから出して数時間立てておくか、またはデカント＊をして澱を取り除いてからグラスに注ぐようにしてください。

＊デカント（デカンタージュ）

おもにワインの澱を取り除く目的で、瓶からデカンターと呼ばれる器に移し替えることを言います。デカントをすると、一般には今まで眠っていたワインの香りを引き出す効果があります。ただしデカントの効果は、ワインの種類やヴィンテージなどによって一概にはいえません。

ワインは飲み頃温度にして

ワインの熟成、保存に適した温度と、おいしい飲み頃の温度は異なります。

お召し上がりになる前に飲み頃温度にしてからお楽しみください。

ボルドーの赤など重めの赤ワインは18℃前後、ボジョレー・ヌーボーなど軽い赤は12℃などが目安となります。

ロゼや、白ワインは10℃前後、スパークリングワインは5℃位が適温と言われています。

冷やしてお飲みいただく場合はワインクーラーなどをご使用ください。

飲み残したワインは

飲み残したワインは空気に触れないようにしておくことが大切です。

一例として、ハーフサイズのボトルに移し替えた上、なるべく空気の入らないように一杯にし、しっかりとコルク栓をするとワインの劣化を防ぐことができます。

お手入れのしかた

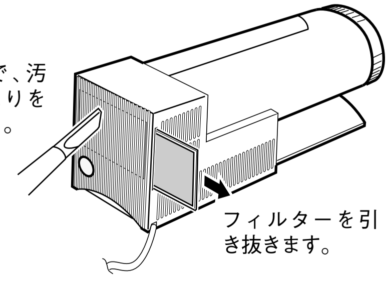
ワインセラーを清潔に保ち、また安全にお使いいただくために年に1回は電源プラグを抜き、庫内の清掃とプラグの点検をしてください。
また、吸・排気口、フィルターなどは目づまりすると冷却効率が悪くなるばかりでなく、過熱する恐れがありますので、2〜3ヶ月に一度チェックをして清掃してください。(ほこりの多い所でご使用の時はよりこまめにチェックしてください。)

⚠ 警告

- **お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く**
  感電の原因になります。
- **濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない**
  感電の原因になります。
- **本体や、庫内に水をかけない**
  漏電や、火災の原因になります。
- **電源プラグのほこりは定期的に取る**
  ほこりは漏電や、火災の原因になります。

吸・排気口、フィルターの清掃

ほこりの付き具合を時々チェックして、掃除機で、汚れやほこりを吸い取ってください。
フィルターの汚れが落ちにくい場合は、家庭用中性洗剤で洗って、良く乾かしてから、元通りに取り付けてください。



本体外部や庫内の清掃

柔らかい布でから拭きしてください。
汚れが落ちにくいときは薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いた後、水を含ませた布で良く洗剤を拭き取ってください。

重要

清掃のときは、次の製品は使わないでください。
- 「**アルカリ性**」または「**弱アルカリ性**」洗剤(洗剤のラベルに表示されています。)
  プラスチック製品にひびが入る恐れがあります。
- **みがき粉**、**粉石鹸**などや、**たわし**、**ナイロンたわし**、**研磨粒子付き不織布**などや**酸**、**ベンジン**、**シンナー**、**アルコール**などの薬品
  プラスチック製品に傷が付いたり塗装面を痛めます。
- **化学ぞうきん**は庫内に使わないでください。そのほかの部分は化学ぞうきんの注意書きにしたがってください。

油が付着したときは、必ずふき取ってください。

お手入れの後は！

愛情点検

電源プラグのほこりを良くふき取って、コードに損傷がないか点検してください。その後、電源プラグを壁のコンセントにしっかりと確実に差し込んでください。
プラグや、電源コードに異常があった場合は、使用を中止し、「デバイスタイル カスタマーサポートセンター(電話 048-664-3477)」へご連絡ください。

故障かな?と思われる前に

温度がおかしい、大きな音がする。などの障害と思われる症状があるときは、まず下の表の原因を調べてください。それでも不都合なときは**デバイスタイル カスタマー サポートセンター**に直接ご連絡ください。

電話 **048-664-3477**

症状	原因
電源が入らない。	● 電源コードがコンセントに根元まで差し込まれていますか? ● 停電していませんか? ● ブレーカーが切れていませんか? ● フィルターがほこり、ゴミなどで目詰まりしていませんか? （電源プラグをコンセントから抜いて、フィルターを清掃後、約3分待って、再度電源プラグを差し込んで確認してください。）
よく冷えない。	● ワインセラーに直射日光が当たったり、ストーブの熱が当たっていませんか? ● 電源を入れてから十分に時間がたっていますか? （外部の条件により1日ぐらいかかることがあります） ● 周囲のすき間を十分に空けていますか? ● 吸気口、排気口にほこりがつまっていませんか? ● 吸気口、排気口がシートなどでふさがれていませんか? ● キャップがしっかり閉まっていますか? ●キャップの開閉がひんぱんではありませんか?
庫内に露が付く。	● 庫内に金属を使っているため、露が付くことがあります。乾いた布でふき取ってください。 ● 湿度が高いときでもスポンジに水を含ませていませんか? （冬場など湿度が低いとき以外は使わないでください。）

主な仕様

種類	電子式ワインセラー
定格内容量	1.8 L
収納本数	1本
外形寸法	（幅）460×（奥行き）141×（高さ）182 （mm）
本体質量	3 kg
定格電圧/周波数	100V　50/60 Hz
定格消費電力	55W
電源コード有効長さ	2 m

本機の仕様は改善のため、予告無く変更することがあります。

保証とアフターサービス

保証書について

● 保証書はこの取扱説明書についておりますので、必ず「販売店、購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容などをよくお読みいただき大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

● この商品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後9年です。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

● 保証期間中は

保証の規定に従って修理させていただきます。

● 保証期間を過ぎているときは

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
この場合、部品代の他に、技術料がかかります。

● ご連絡先は

デバイスタイル カスタマー サポートセンターにご連絡ください。
なお、ご連絡をいただく前に、購入年月日が記載された保証書と、製造番号(本体底部に記載)をご用意ください。修理受付の際、必要になります。

デバイスタイル カスタマー サポートセンター

電話 048-664-3477

e-mail:customer.support@devicestyle.co.jp

修理品の送付先
デバイスタイル カスタマー サポートセンター
〒331-0812　埼玉県さいたま市北区宮原町1丁目677
修理品のお問い合わせ電話:048-664-3477
営業時間:平日午前9時～午後6時 (土日、祝日及び長期休暇を除きます。)

交換部品について

下記の交換部品を用意してあります。お求めは上記 **デバイスタイル カスタマーサポートセンター**に直接ご連絡ください。

部品名	部品番号
キャップ	WA1-CAP
加湿用スポンジ	WA1-SP
フィルター	WA1-FLT
スペーサー	WA1-SPC

廃棄時にご注意願います	**2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのワインセラーを廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。**

株式会社
デバイスタイル ホールディングス
〒107-0062　東京都港区南青山 5-9-6

サービス受付・修理品の送付先

デバイスタイル
カスタマー サポートセンター
電話：048-664-3477
〒331-0812
埼玉県さいたま市北区宮原町1丁目677

部品番号：WA1-IB4-001